

初心者の柔道事故事例（平成29年）

	日時・場所	受傷者 診断名	指導者	事故状況	全柔連「安全指導の資料」 の認識度	その後の経過等
1	5月下旬 高校柔道場	高1男子 無段 4月入部 柔道歴1カ月 診断名 脳脊髄液減少症	指導員3段 指導歴約40年	部活練習中 乱取中に相手（同じく柔道 初心者）から大外掛（通称） をかけられ、同体で倒れた 際に頭を打った。	「大外刈段階的指導手順例」 は見ているが、「柔道練習ス テップ」は知らなかった。	事故後から通学はしているが、 頭痛が続くために複数回の手術 を受けており、受傷から10カ 月が経過した時点でも症状は改 善されず、学業にも支障が大き いとのこと。 学校側の対応には納得していな い。
2	10月下旬 高校柔道場	高1女子 無段 重量級 9月入部 柔道歴1カ月 診断名 中心性脊髄損傷	指導員3段 指導歴約6年	合同稽古中 初心者なので生徒同士の 乱取は禁止されており、見 学していた。他校指導者に 促されて、乱取に参加。背 負投をかけてきた他校生 徒（女子初段軽量級）が潰 れたためを頭から畳に落 ちた。起き上がることがで きず救急搬送。	「柔道練習ステップ」や全柔 連が発信している安全指導に 関する通知は十分に把握して いなかった。	1カ月以上入院した後に復学し たが、受傷から5カ月が経過し た時点でも麻痺があり、リハビ リテーションを続けているとの こと。 学校側の対応には納得していな い。

初心者の事故防止・安全指導の徹底事項

(1) 初心者には少なくとも3ヶ月程度は乱取り、高い位置からの投げ込みを行わせないこと。

※重大事故は柔道を習い始めた初心者に起こる確率が極めて高い。

(2) 初心者には大外刈りの投げ込みを受けさせないこと。

※柔道事故の頭部打撲は、大外刈りによるものが多く、特に、受け身の未熟な初心者が頭部打撲による障害を負う危険が極めて高い。

(3) 「柔道練習ステップ」「大外刈り段階的指導手順」等を参考にして無理のない計画的な練習メニューを作成すること。

※詳しくは、全柔連HP「安全指導の資料」を参照してください。